



平成24年度 学校だより (NO. 493)



# くぬぎ台小

## 7月定例号

平成24年7月13日刊  
横浜市立くぬぎ台小学校

ホームページへようこそ! [くぬぎ台](#) [検索](#)

★7月11日までのお客様 = 13,591人



## 足し算の評価と引き算の評価

校長 藤井 芳樹

海外旅行に行った方の話によると、おつりの考え方が国によって違うのだそうです。

日本では、支払ったお金の残金として「おつり」をいただきます。つまり、

**支払った金額 - 品物の代金 = おつり**  
という式になります。

しかし、ある国では、

**品物の代金 + おつり = 支払った金額**  
という考え方で、おつりが支払われると聞きました。

もう少し詳しく言うと.....、

品物の値段に、100円、100円、100円と足していき、支払った金額になったところでおつりは完成、という様です。そこには、一切引き算は存在しません。

価値観のとらえ方にも、足し算と引き算があります。

100点を満点とする考え方は、いつからの日本の文化なのでしょう。(今度、調べてみますね。国によっても違いがあるかも!夏の自由課題にできそう!)

卒業し、中学生になったくぬぎっ子の保護者からも、中学の50点満点などは慣れるまでに時間がかかるような話も伺いました。

100点満点の考え方だと、どうしても引き算の評価になってしまいます。85点なんて、0点からすればすごくがんばったと思えるのに、15点が取れなかったというマイナス評価の方が印象に強いです。

あるテレビコマーシャルにこんなのがありました。

(A)
5 + 5 = □
3 + 6 = □
5 + 1 = □
3 + 2 = □
2 + 5 = □
9 + 1 = □

(B)
□ + □ = 10
□ + □ = 9
□ + □ = 6
□ + □ = 5
□ + □ = 7
□ + □ = 10

すぐにわかるように、答えが一つしか書けない問題といくつかの答えがある問題です。きっと、それぞれに問題の意図があるのでしょう。子どものがんばりを評価するとは、どういうことでしょうか。

引き算の評価では、理想とする山の頂上があって、ここは出来ていない・ここもわからない・あそこもだめだ、と、てっぺんからどんどん転がり落ちてきて、どうにか止まった所、そこが「あなたの実力です。」と評価される。

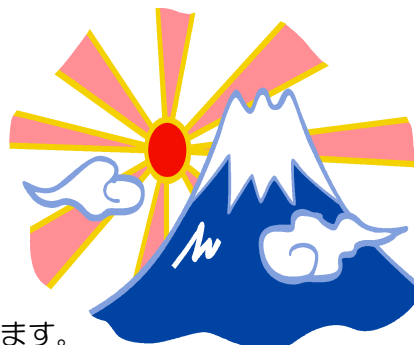
でも、足し算の評価は、ここがいいねえ・あれができるようになったね・そこもできるの、と、一段一段上っていく、まずは一休みしたいなと思った所、そこが「まずは、今の自分の実力」と評価される。また、足し算の評価には頂上がない。だから、一段一段こつこつと登って行く内に引き算の山の頂上を越えてしまっていることもある。頂上は自分で決めることができる。100点満点で満足できない子どもは、1000点満点を目指せばいい。

道徳の授業で「ちくちく言葉とふわふわ言葉」を学習している学級がありました。人に対してきつい言葉と優しい言葉のことだと思います。

もしかしたら私たち大人の子どもの評価や言葉がけにも「ちくちく評価とふわふわ評価」があるのかもしれない。

子どもたちのよりよい成長を目指して、あるときには厳しく、あるときには優しく、子どもたちに接していきたいと思

います。保護者、地域の皆様にも、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたします。



# 学習支援委員会報告

朝のスキルタイムでは、火曜日は読書、水曜日は国語、金曜日は算数に取り組んでいます。とくに今年度は、水曜日の国語のスキルタイムに全校で漢字に取り組むことにしました。全部で問題は40問（1問1点）で、同じ問題に3週連続で取り組みます。30点以上は赤、30未満は青の色をカードに塗ります。週末には、必ずカードを家に持ち帰り、お家の方からハンコをもらってくるようにしています。



全部、赤色にできてうれしいな。

「がんばったね。」「40点めざしてがんばれ。」「やり直しをすると覚えるよ。」「赤色になるようにがんばれ。」などとお家の人から言われ、とても励みになっているようです。一回目は30点以下でも2回目は練習して赤色になっている人が増えています。ぜひ、確認のハンコを押すときには、励ましの言葉をかけていただくと子どもたちの励みになると思います。



学習支援委員会の様子です。子どもたちの漢字の力をつけ、達成感を味わわせるための会議です。

（高橋由美）

## 「ありがとう、くぬぎ台小学校」シリーズ第一弾!

### ティーチングスタッフとエデュケイショナルスタッフの違い

ここ数年、私たち教職員のチームワークアップのために、運動会にはおそろいのTシャツをつくってきました。PTA役員の方々にもお付き合いいただき、ありがとうございます。

で、今年は「くぬぎ台小学校最後の運動会」という意識を共有し、悔いなくベストをつくした運動会にしていこうと考えています。その思いを教職員・くぬぎっ子も共有しようという意味で、今年の参加賞をおそろいのTシャツにという提案をPTA役員会に提出し、総会でご了解いただきました。子どもたちのTシャツの代金はPTAの負担とさせていただきますが、実費にて保護者・地域の方々にもお分けする計画がPTAにもあるようです。後日配布の文書にて詳細をご確認ください。

さて、Tシャツの文字に「ティーチングスタッフ (teaching stuff)」とか「エデュケイショナルスタッフ (educational stuff)」とよく使います。前者は「指導する。」、後者は「支援する。」と訳されます。

くぬぎ台小学校の教職員の私たちは、「エデュケイショナル スタッフ」でありたいと思います。子どもたちの成長は自分自身で勝ち取るもの。そのための支援に私たちは取り組んでいきます。

保護者・地域の皆様、そして卒業生のみなさん、9月15日(土)に開催される第41回くぬぎっ子運動会へのご参加・ご支援をよろしくお願ひいたします。

このデザインで、  
Tシャツをつくります。

◎子どもたちが応募してくれたデザインの中からいくつかを合体した絵を採用しました。



●現時点でのイメージ原画です。

# 保土ヶ谷地区学校警察連絡協議会報告

6月29日（金）、保土ヶ谷警察署にて、保土ヶ谷地区小中高特別支援学校の児童生徒指導担当教諭と学校長の参加の下、学校警察連絡協議会が開催されました。その際の保土ヶ谷警察署からの情報提供で、この夏休みに向けた子どもたちの生活に関わることも多くあったので、ご報告させていただきます。

## ①携帯電話に関わる犯罪の増加

子どもの持つ携帯電話のフィルタリング率がとても低く、知らないうちに被害者・加害者になっている場合も多いようです。また、携帯ゲーム機については、インターネットに入れる機種もあることをご存知ですか？スマートフォンは電話機ではなくパソコンと考えた方がよいというアドバイスもいただきました。

## ②脱法ドラッグは、他人事ではない。

市内には11業者あり、自販機で1本500円程度。子どもが買ってしまう金額である。幸い、現時点では区内には業者はいないとのこと。

## ③強制わいせつ事案

薄着になる季節になると増える犯罪です。子どもたちの服装にも、保護者の配慮が必要であると感じる事案もあるそうです。

以上のことは、くぬぎ台小学校に関係ないと思っていたら大まちがい。先日、ある日のくぬぎっ子との会話の報告を副校長先生がしてくださいました。

子「副校長先生、撮った写真はホームページに載せてくれる？」

副「いいよお。」

子「やったあ、お家に帰って携帯ゲーム機でくぬぎ台小学校のホームページを見てみよう。」

先の①でご報告したように、今までは、たかが子どものおもちゃだと思っていたものが、当たり前のように問題のあるインターネットサイトに入ることも出来てしまうという現実がここにあります。我が家だけは、という時代ではないようです。夏休みを前に、もう一度、お子様たちと確認し合っていたいただきたいと思います。

## 言霊との出会い(先生と子どもの会話より)

くぬぎっ子たちには、心や霊をもった言葉を発することができる人、受け止められる人に育ってほしいと思います。

### (3) バイバイ、またね。

6月、毎日、授業が終わり下校の時刻になると校長室に聞こえてくる、先生とある女の子の会話です。

子ども「バイバイ!」、先生「バイバイ!」、子ども「バイバイ!」、先生「バイバイ!」、子ども「バイバイ!」、先生「バイバイ!」、子ども「バイバイ!」、先生「バイバイ!」、……、先生の顔が見えなくなるまで、ずっとずっと続きます。子どもに愛情を注ぐって、そんなに難しいことではないと思います。

一人きりで登校していた人と私で毎日した「じゃんけん」、今はたくさんの友達と一緒に学校に来ています。登校しながら、電信柱で私と「だるまさんころんだ」をしていた人、今は元気な挨拶をして走り抜けていきます。フランス語で朝の挨拶をしてくれた人、今は家族のお話が大好きです。挨拶の代わりに手をつないできた人、今は鉄棒の場所に一目散です。挨拶の代わりにお腹を触ってきていた人、今も時々触らせてあげます。

たっぷりの愛情って、そんなに難しいことではないと思います。

### 《くぬぎ台小学校放射線測定報告：7月5日実施》

※横浜市の基準値は、地上1cmでの測定で0.59μSv/h以下です。

測定場所	地上 1 cm	地上50 cm
校庭中央	0.06	0.06
雨樋下（第3棟への渡り廊下）	0.05	0.06
屋上側溝部分（第1棟）	0.05	0.04
雨水桝・汚水桝の淵（中庭理科室前）	0.05	0.05
校庭隅の吹きだまり（飼育小屋前）	0.06	0.06
校内学校田んぼ、畑および草地	0.06	0.06



ステッチ(4)でご紹介したように、低学年の人たちは毎日の水やりを大切にしています。その証拠のような5月のエピソードをひとつ。

1年生の女の子です。学年花壇に向かって両手を合わせ、お祈りをしています。私は、耳を澄ませて聞きました。

「種の神様、早く元気な芽が出てきますように。」

今、その人の願いは叶っています。